

# 四プロ学習交流会に 70名参加

10月26日27日と1泊2日の日程で全退教四国プロック学習交流集会在徳島市眉山の「かんぼの宿」で4県6組織から70名が参加して開催されました。高知高退協からは、岡崎、中岡、浜田(昌)、西森の4名が出席しました。

3時からの全体会では「健康といきがい」をテーマに6組織から意見発表があり、続いて参加者5名が体験を発表し、有意義な交流会となりました。夕方6時から懇親会があり各県の参加者の紹介。山原代議士の挨拶。そして余興を出し合っただけで楽しく交流が行われました。

各組織からの発表は次の通りです。  
まず、高知県退教からは、山下次男幡多退教代表が、介護保険充実をめざしての土佐清水市や中村市での取組を報告しました。高知高退協からは、岡崎会長が立ち、林勤氏の高知退教の広場への投書記事を紹介し、会員の健康生きがいづくりの取組を報告しました。愛媛県退教代表は、学習と仲間づくりの経験、香川県退教代表は、妻を亡くした後の悲しみを乗り越えるための趣味や地域活動について語りました。香川高退協代表は、コーラス団の結成その他の文化活動を発表。最後

に徳島県退教代表は市民劇場運動の楽しみを報告しました。第二の人生で、それが苦難を克服し、仲間づくりの中で幸せを作り出す知恵と積極性の大切なことが強調されました。

二日目は、吉野川第10堰問題についての学習と現地視察を行った後、雨天の中をそれぞれ家路につきました。

## 当世「旅」事情(その1)

上岡 積

旅は日程にしばられず、足の向くまま気の向くまま自由に歩くのがいい。昔、横長のリュックを担いだ若者たち。いわゆる「カニ族」が北海道をのし歩いたと聞くと、その現代版あるいは熟年版とも言える旅をした。旅行社であれば「ぶらりブラブラ北海道1カ月の旅」または、「北海道・花と山を訪ねるロマンの旅」とでも名づけるであろうか。6月末から7月末にかけての1カ月の旅であったが、天井のある部屋に寝たのは羽幌町のユースホステルただ1度であとはすべて車中泊ホームレスすれすれのピンポーン旅である。

同好の士はいるもので、どのキャンプ場に到着しても夫婦連れあるいは山仲間とおぼしき男同士が結構いる。その特徴は、①車に荷物を満載してキャンプ場を渡り歩く②熟年カップルが多い(夏休み前だからだろうか)

③1カ月前後の日程の旅である④九州から北海道まで全国各地から来ているということになるだろう。もう一つ加えれば、1年に1度ぐらい行動する常習犯が多い。これが旅行会社の企画するパック旅行の対極にある、中高年の旅の1つのパターンだと思ふ。

夕暮れ時になれば、食事の準備に寝床作りで大わらわで、荷物を車から出した入り入れたり忙しい。たまに本格的なキャンピングカーも駐車するが、これは別格で近寄りたがたい威厳がある。わたしの車はマツダボンゴの改造車だが、ガス・冷蔵庫(実質は暖房庫という代物)が装備されている簡易キャンピングカー。本格的なものには手が届かないとしてもこれなら何とかかなり敬のいや羨望のまなざしで無遠慮にまた覗きまわす。眺め話し掛けてくる。オッチョコチヨイの私はいちいちそれに対応して、車の説明をり旅の情報を交換した

## 俳句

9月15日(水)

紀子邸址 国分寺

合田青幹

大寺領東西南北法師蟬  
落葉焚く煙二筋三筋かな

田所たねを

鶏頭の一つ鮮か紀子邸跡  
これ程に花をこぼして萩咲ける

吉本伸秋

紀子邸跡虫の声澄み水音澄み  
水輪広げ広げて涼し手水盤

中内みち代

秋風や土佐のまほろば国府の碑  
紀子邸址誰のまほろば虫時雨

小笠原さちを

盲目たる遍路も立つや萩の露  
森閑とたゞ森閑と法師蟬

## 高退協・「山の会」合同新年の集い

新春恒例の合同の集いを下記のように開催します。多数ご参加ください。

1. 開催日 1月5日(水) 小雨決行
2. 日程
  - ①芸西村「考える村」へのハイキング
    - 9:30 手結山ホテル(海辺の果樹園)前バス停留所の登山口集合ハイキング開始
    - 1:00 芸西村の方へ山道を下り開始
    - 3:00 手結山ホテル迎えのバスで海辺の果樹園へ
  - ②新年宴会「海辺の果樹園」で 会費5,500円
    - 4:00 開宴 (地ビールです)
    - 6:00 終宴 ホテルのバスではりまや橋経由高知駅まで送る

3. 注意事項

◎バス 高知駅発 土電ターミナル発

甲浦行き新	7:30	7:40
安芸ヤマト前	7:30	7:30
		8:30

4. 申し込み締切 12月20日(月)

5. 申込先

桑原豊子	☎ 842-7409
坂本敬子	☎ 844-2018
渡辺怜子	☎ 892-0102



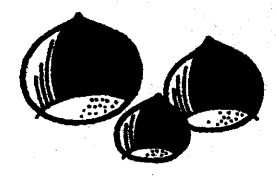
## 囲碁大会

一月二十三日

くわしい案内は新年号で

## 【会員の消息】

池川順子氏(高知女子大前学長)1999年度総理府の「男女共同参画社会づくり功労者」賞を受けられた。来年4月15日しらすぎ会(女子大同窓会)総会に続いて午後2時から3時30分まで、受賞記念講演会が開催されます。公開となるはずですのでご参加お誘いします。(尚会場は、池校舎)



りして話が弾むが、この一時は悪くない。一昨年岩手で逢った夫婦など、家を出てから3カ月目だという。車は本格的なキャンピングカーで、60半ばの奥さんはご亭主が亡くなれば家を売って車暮らしをしようかというほどの入れ込みよう。あるキャンピング場で女経済学博士に出会ったのが運のつき。「旅をいかに安く仕上げるか」をテーマにとうとうと理論を展開する。キャンピング場の選び方に始まって、調理は無駄が多く、よるからコンピニを利用しよう、おみかすの買いはこうしてあつて、1皿を2人で分ければ安くなる(あたりめだ)汗をかかない日は温泉に入るのは止ましよう。挙句の果てに、1カ月前も旅をすればご亭主の体重が23キロ落ちて健康にもいいとまでのたまう。側でご亭主はニコニコ・ニヤニヤ。なにもそこまでしなくてもと思うのは素人の浅はかさというものだろう。この講義を機に、わが家の食事の質が落ちたのも、恥ずかしながら紛れもない事実であった。

高教組

だより

高教組では、勤勉手当への「成績率」導入を凍結し県民論議を求める意見書の全県キャラバンを県教組とともに八月に実施、九月議会では須崎市をはじめ五自治体で採択され、一二自治体で継続審議になっていきます。こうした中、橋本知事は県教組の知事選・政策質問状の「成績率」関連部分に対して「いろいろと批判の声もありますので、今後はお出されている意見も配慮してすすめていと思つていきます」と回答、態度を若干変化させています。(一月五日)引き続き意見書採択運動、県民世論に訴える運動が大切になっていきます。今年も三〇人以下学級など教育条件整備を求めている「全国三〇〇万署名」がスタート、高退協の方から「署名が滞り、現職としても頑張らねばと触発されているところ」です。

一〇月二十九、三十一日にかけて山口県岩国で平和大会が開催されました。戦争協力体制が作られていく中、高教組では特別の位置付けを行い、青年部を代表に八名が参加、基地及びその周辺の実態調査と全国の事態取り組みの交流が行われました。

一月二一日(日)には

高退協活動日誌

【9月】

- 9日 県社保協幹事会(古味)
- 18、19日 自由民権友の会の幡多地域の文学と史跡巡りに、窪田(充)、岡崎、湯浅、浜田(昌)、島内(香)、山下(正)の6名参加、山下氏が講師となる。
- 20日 高知城ホールで土

教研集会を南高校で一〇時から開催します。午前は菊池修さん(松山・フリースペース「遊民館」館長)の「遊び心をもって、ゆったりと」をテーマにした不登校問題の講演を、午後は八つの分科会を開催します。高退協のみなさんもぜひご参加下さい。

(執行委員長 井垣政利)

高知県高齢者大会

第十三回県高齢者大会が九月二十一日、舞新文化ホールで介護保険の要介護認定を目前にして行政・介護支援専門員のシンポジウムをメインに開かれた。(百五十名・高退教6名)申請から要介護度の決定の説明とその問題点、介護に関わっている家族や関係者の生々しい体験が報告され、その他様々な不安や疑問点が指摘された。高退教の島本理夫先生が南国市の介護保険事業計画策定委員の立場でシンポジストとして出席され、その活躍の様子を伺うことができました。どうもご苦労様でした。

相撲三知識 三十五

林 勤

大相撲を支える人々(9)

行司 (2)  
木村庄之助

○行司の仕事、装束、

行司の本職は言う迄もなく勝負判定であり、人によって違いはあるが、入門二カ月、五カ月で土俵に上がる。しかし、その他にも、各場所の前にその場所の無事と盛況を祈願する「土俵祭り」の祭主となる、相撲字で番付を書く、取組編成の時の書記、場内放送、などの仕事がある。

立行司(前回述べたが、木村庄之助と式守伊之助の両行司)になると、相撲協会の評議員となり、協会の運営や役員選挙などの重要な事に関与する。

評議員とは、年寄(親方)全員、力士代表四人、行司代表二人である。

一日に裁く番数は、階級、その日の取組み数や行司の数(休むことなどもある)によって多少の違いはあるが、大体、序の口格十

番、序二段格九番、三段目格七番、幕下格五番、十両格、幕内格、三役格及び式守伊之助はそれぞれ二番、木村庄之助は一番である。

庄之助は毎日結び(最後の一番、伊之助はその前の二番である。横綱土俵入りの場合は、庄之助が先に出る横綱、伊之助が後から出る横綱、の行司をつとめる。力士は、幕下以下には許されていない「羽織はかま、大銀杏を結う、稽古廻しの白(幕下以下は黒)」などが十両以上になると許されるように、行司も階級によって装束や軍配の房の色などに違いがある。因みに、房の色は、庄之助は紫、伊之助は紫白、三役格は朱、(以下省略する)などである。

土俵上では幕下格以下は裸足、十両格になると足袋が履ける。三役格以上になると草履が許される。

立行司は脇差を差して土俵に上がる。差し違えたとき(勝負判定を誤る)には責任をとってその場で切腹という故事にならったものである。

行司定年は六十五歳である。

ここで木村庄之助について少し述べておく。本名桜井春芳、昭和十一年三月二十六日生まれ、香我美町岸本出身。

郷土の大先輩横綱玉錦の二所ノ関部屋(玉錦は既に昭和十三年十二月四日に亡くなつてはいるが)へ昭和二十年十一月(秋)場所に九歳で入門。以来五十年の精進が実り、平成七年一月場所から行司最高位の木村庄之助(二十九代)に昇格した。

一年遅れて入門した45代横綱若乃花や三十一年入門の48代横綱大鵬らと同じ部屋で苦楽を共にしている。

庄之助の同級生数名の方が、何かと便りをし合い、励まし合つておられるようである。私事になりますが「土佐ノ海と庄之助」について高知新聞へ投稿(平成七年一月八日)したことが思い掛けず縁となり、同級生のお世話の方とお会いし、いろいろ話をしたことであった。(つづく)

【10月】

- 4日 全退教四プロ、川之江市で交流会の打合わせ会(岡崎)
- 9日 県労連結成10周年記念集会
- 12日 革新県民連合代表者会が高知城ホールで(岡崎)
- 13日 県社保協幹事会(古味)
- 19日 高退協月例事務局会
- 21日 10・21集会在中央公園(岡崎、和田)

【11月】

- 3日 憲法集会が高知城ホールで開かれる(岡崎外14名出席)
- なお10月下旬機関誌の広告取りに関係者を訪問依頼する。(岡崎、中岡、浜田(昌))
- 研修旅行の連絡(古味、西田)

- 23日 百五十名参加、デモ行進
- 23日 日本共産党県委員会追悼式(富永三雄、中野振次郎)合祀さる。(岡崎)
- 25日 憲法連絡会が高知城ホールであり岡崎会長出席。11・3集会の打合せ。
- 26日 全退教四プロ学習交流会(徳島市)に岡崎、浜田(昌)、中岡、西森が出席。